

第21回 外国青年による津軽弁大会 2026



第21回外国青年による津軽弁大会

外国青年が伝える 津軽の魅力

6月27日(土)、役場国際交流会館にて第21回外国青年による津軽弁大会が開催されました。

10年ぶりの開催となった同大会には、県内各地から12名の外国青年が参加し、歌や寸劇、コントを披露しました。

歌詞を津軽弁に翻訳して歌い上げたパフォーマンスや、津軽地域の文化を取り入れ、全編を津軽弁のセリフで演じた寸劇・コントなど、工夫を凝らした発表が次々と披露されました。会場は、感動と笑いに包まれ、観客からは大きな拍手や歓声が送られていました。

大 賞

「あっこもっこ」

リン・ライエンさん
ザンスラー・シェリーさん
デコスタ・ローレンさん

受賞したシェリーさんにインタビュー

Q. 大賞を受賞した感想は？

A. みんなのために開催したけど、とても嬉しい。

Q. 観客が沢山いたけどどうだった？

A. 最初は友達以外来るか心配だったけど、すごく多くの人がかきてびっくりしました。

Q. 好きな津軽弁は？

A. 「まんず(本当に)」「じょんず(上手)」などに出てくる「ん」が好きです。



大賞を受賞し、感想を述べるライエンさん、シェリーさん、ローレンさん(中央左から)

Q. 最後に一言お願いします！

A. 私は津軽の文化や方言を良いと思っているが、地域の人は魅力と思わない人もいます。私たちが思う津軽の良さを発信することで、地域の人々が文化や方言を「誇り」に思ってもらえるよう頑張っていきたいです。

歌・演奏



○りんご追分
美空ひばりさんの有名な演
歌を心を込めて歌いました



○夢の中へ（ゆめのながさ）
井上陽水さんの楽曲を、情
熱的に歌唱・演奏していま
した



○名もね馬っこ
洋楽の A Horse With No Name
（アメリカ）のヒット曲を笑顔で
弾き語りしていました



○あいや節
津軽五大民謡の1つである
あいや節を津軽三味線の美しい
音色を奏でながら歌いました



○カントリー・ロード
ジョン・デンバーの名曲を
歌いながら、ウクレレの優
しい音色を響かせていました

津軽弁に翻訳した歌詞や劇の内
容は、こちらをご覧ください。



寸劇・コント



- ① かちゃくちゃね
標準語と津軽弁の勘違いから巻き起こるコント。
男性2人が、「まっこ（お年玉）」と「まっこ（馬）」を勘
違いしながら電話をしている場面。
- ② あっこもっこ
津軽地域で親しまれている「ゴニンカン」の最中に繰り広
げられる口論を題材としたコント。
地域ならではの文化や人々のやりとりをユーモラスに表現。
- ③ 津軽の三匹の豚っこ
イギリス発祥の童話「三匹の子豚」を、津軽の四季に沿っ
たストーリーにアレンジした寸劇。

